


むかし昔、  
某地方有数の山岳の  
麓に小さな古民家  
がありました。

そこには一人で  
暮らしている少女には  
何やら変な噂が  
立つことがあります。



もう、  
お狐さん！



曰く人に化けた  
妖狐を見た、と。

……なんじゃ。  
今日はちゃんと働いた  
じゃろ。



はあ……。  
仕方ないじゃろ。

むん。

人間と同じように  
働くが楽だからの。



また村の人たちが  
うちの噂を  
立ててましたよ。

ふん ぷん

変な耳生やした。  
人間を見たって。



……終わったら  
お説教の続き  
ですからね。



それはそれとしての、  
今日の分の褒美は  
貰いたいものじゃ。

では早速ご主人の  
生気をいただく  
とするかの。



ほれ。

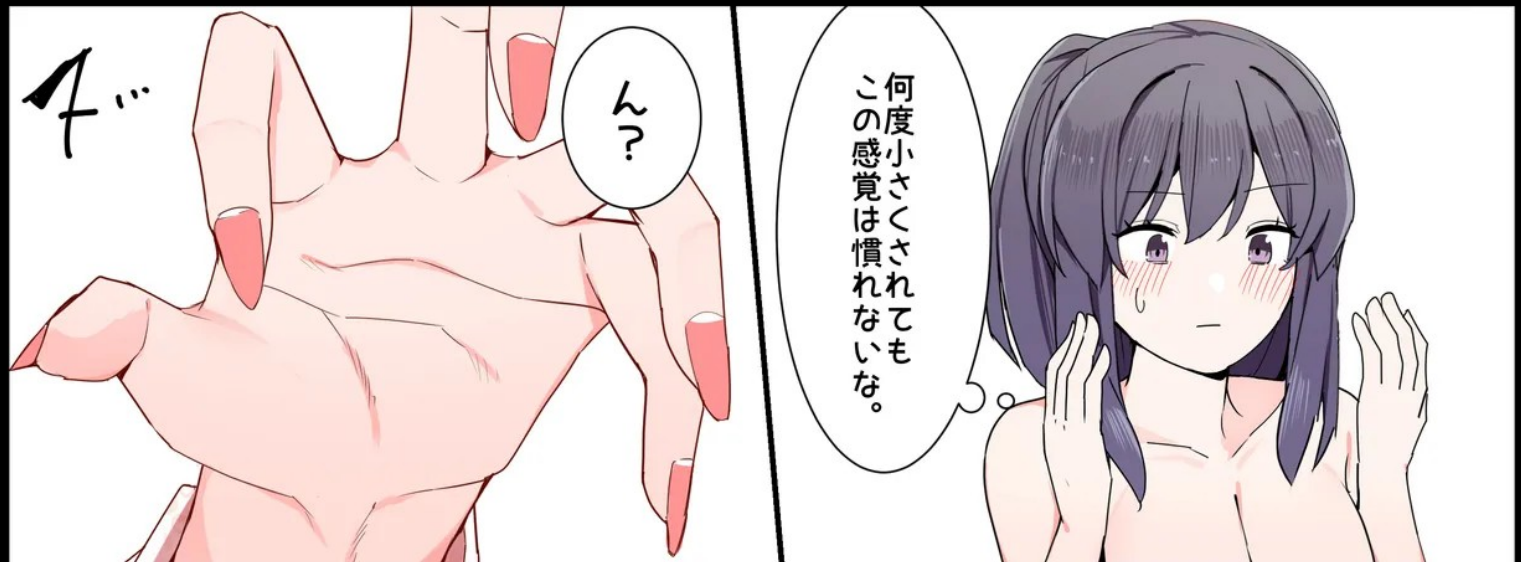
ホワッ



しゅろろろ.....

おま——ん

よし、これくらいの大きさが手ごろなサイズじゃろうか。



ん...

ん？

何度小さくされてもこの感覚は慣れないな。



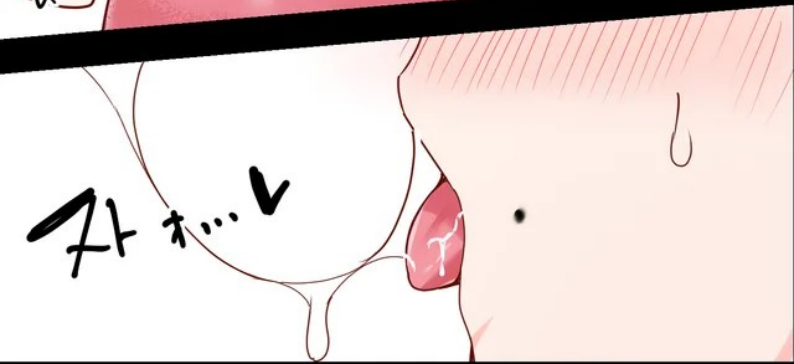


あゝ

熱い舌と唾液が身体中に絡みついて蕩けそう♡

ぬりっ♡

ぬりっ  
ぬりっ



アホ...♡



ハズガ...♡

今日もたっぷり可愛がってやるからのー♡

は  
は

は  
は



そろそろだ。ねいっつも私の身体を

もう腹が減って限界じゃ...♡

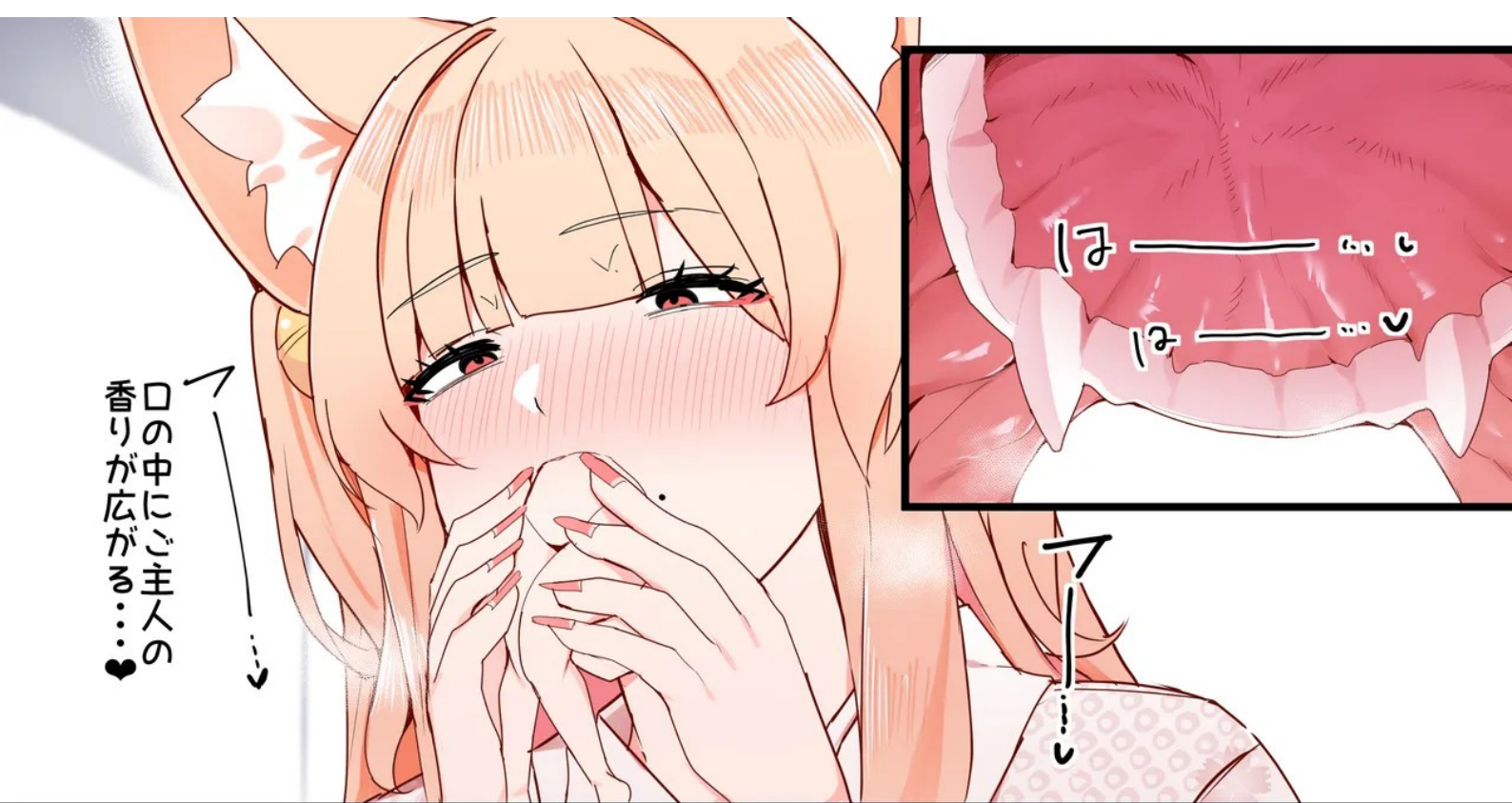
ひん

は  
は

は

ド...♡





口の中心にご主人の  
香りが広がる……♡

はー……♡  
はー……♡



飲んでしまい  
たくなる……♡

ぐわん

ぐわん

ぐわん



ねほー……♡

おっといかん  
まだ我慢じゃ……♡



しかし、ご主人を  
しゃぶると何故  
いつも股が切なく  
なるのじゃろう……♡

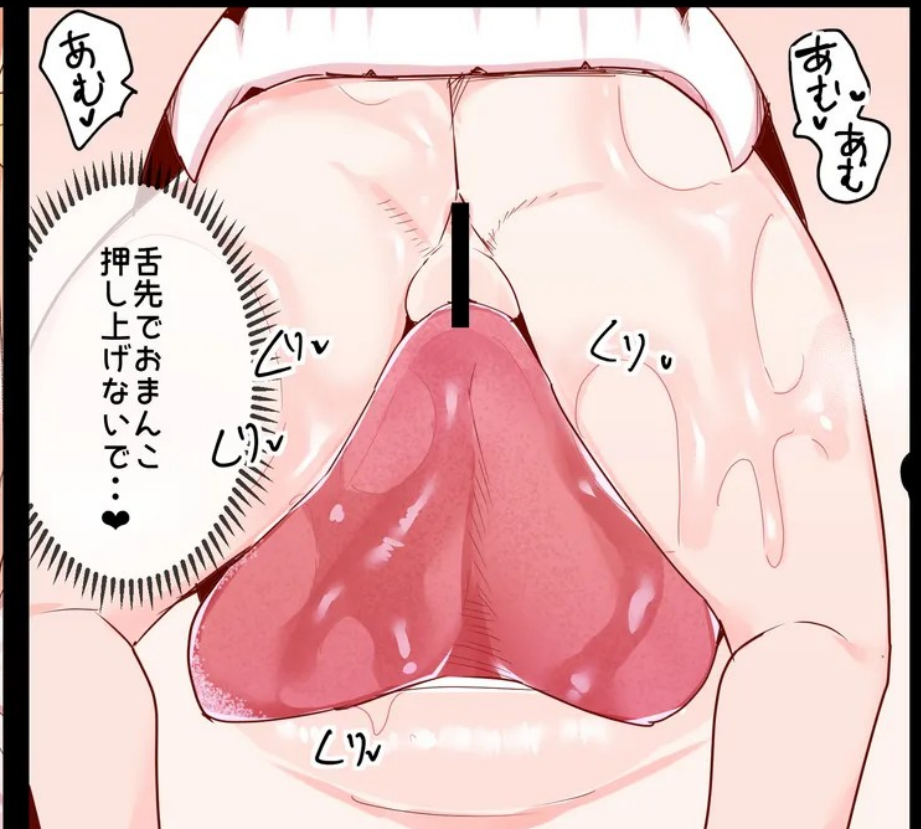
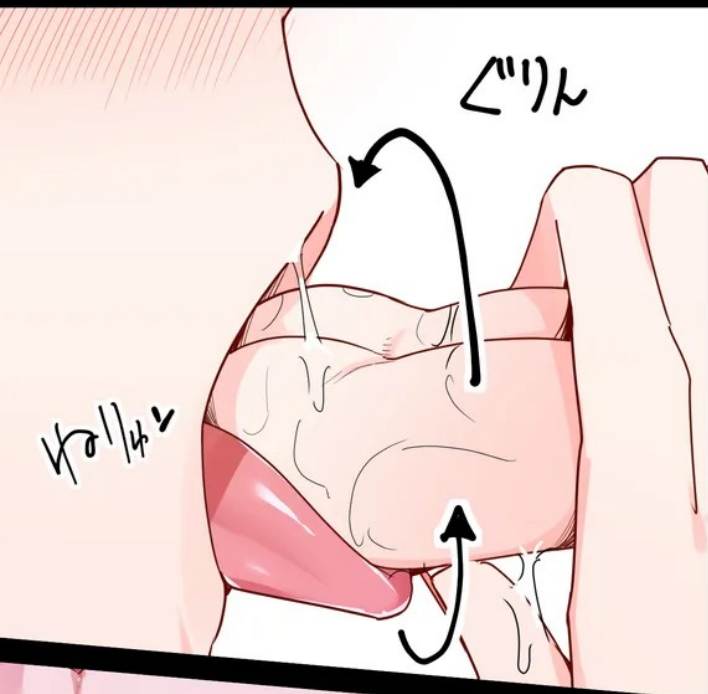
今までこんなこと  
無かったのに

ぐわん

もじ

もじ









食いたくて  
うずうずしとる  
んじゃ……♡

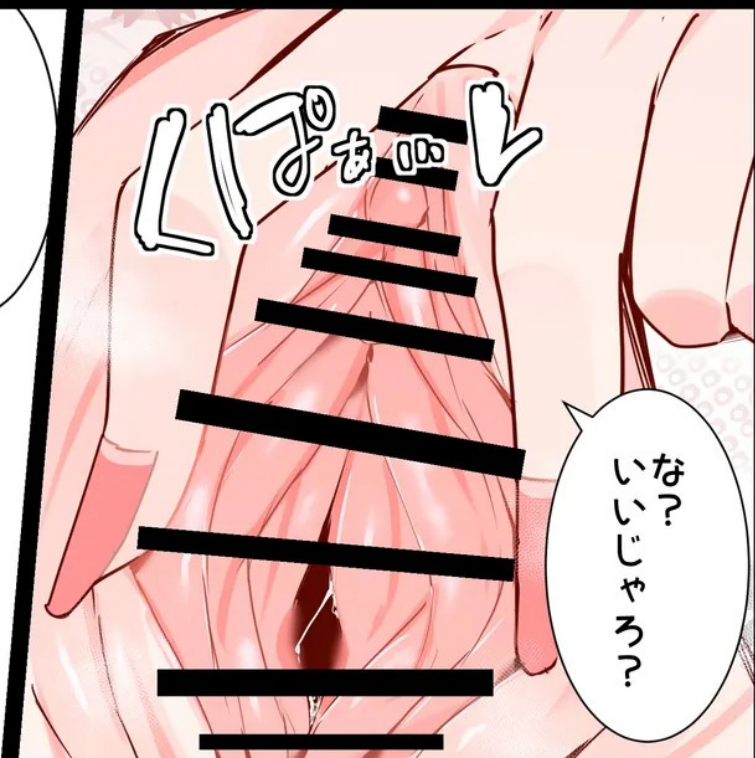
こっちでも  
生力を食っても  
良いかの……♡

ニヤニヤ



迫力すぎ……

ニヤ



しびれ

な？  
いいじゃろ？

ちよっ…

んんんん

んんん

やっぱもう少し  
待って—

んんん…

んんんんん

んんんん

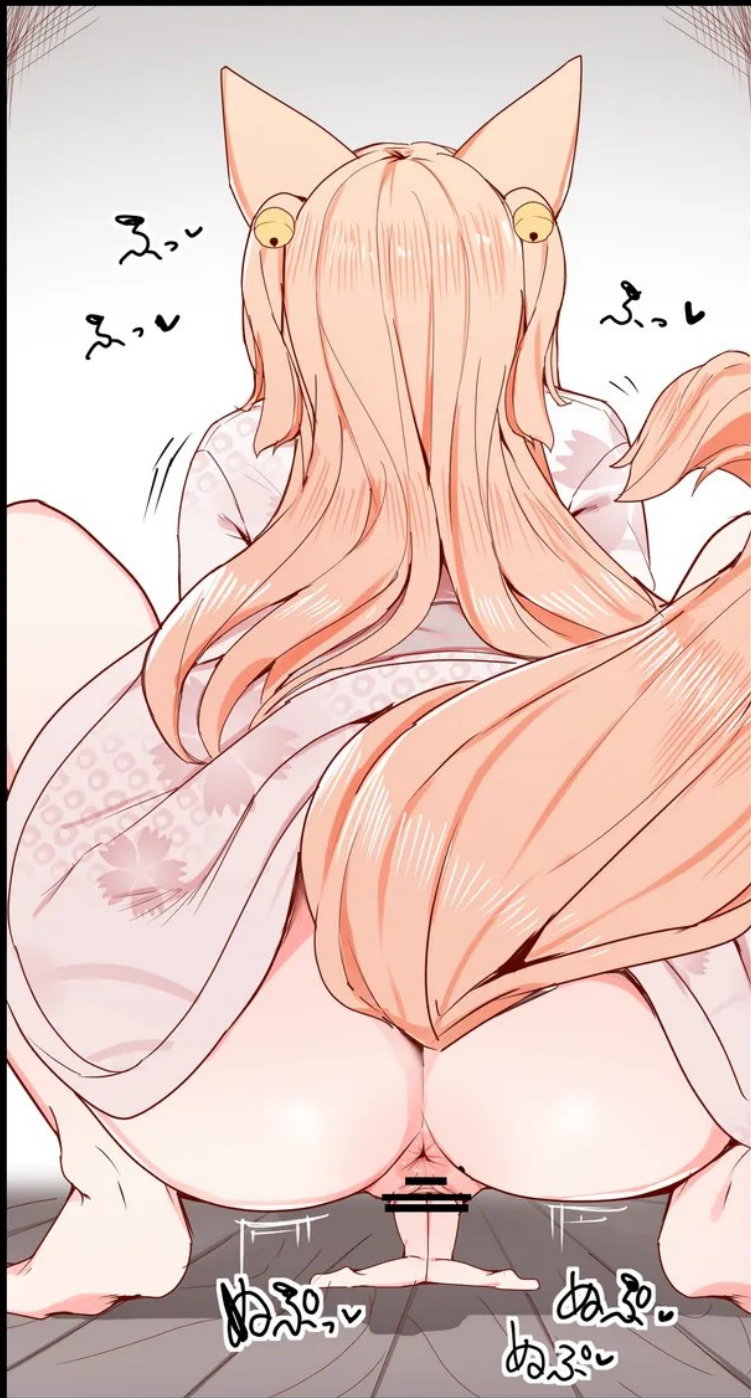
んんんんん

んんんん

んんんん

んんん











お主は僕の  
愛しい主様じゃ。

殺すなんてつまらん  
ことません。

ぐわん ぐわん



ちやんと尻から  
出してやる。

安心してくれ。

にん ぐわん

にんぐわん



安心してろ。  
術をかけるから  
消化はせんわ。

のしん



身体が火照って  
仕方ないんじゃ

頼む

ぐわん ぐわん

ぐわん ぐわん

ぐわん ぐわん

ぐわん



主様とひとつにな  
ってみたいんじゃ ♡

愛おしくて  
たまらんのじゃ ♡



もちろんじゃ！  
約束する！

：それじゃあ  
重いので  
どして下さい。

わく  
わく

おー  
すまん。

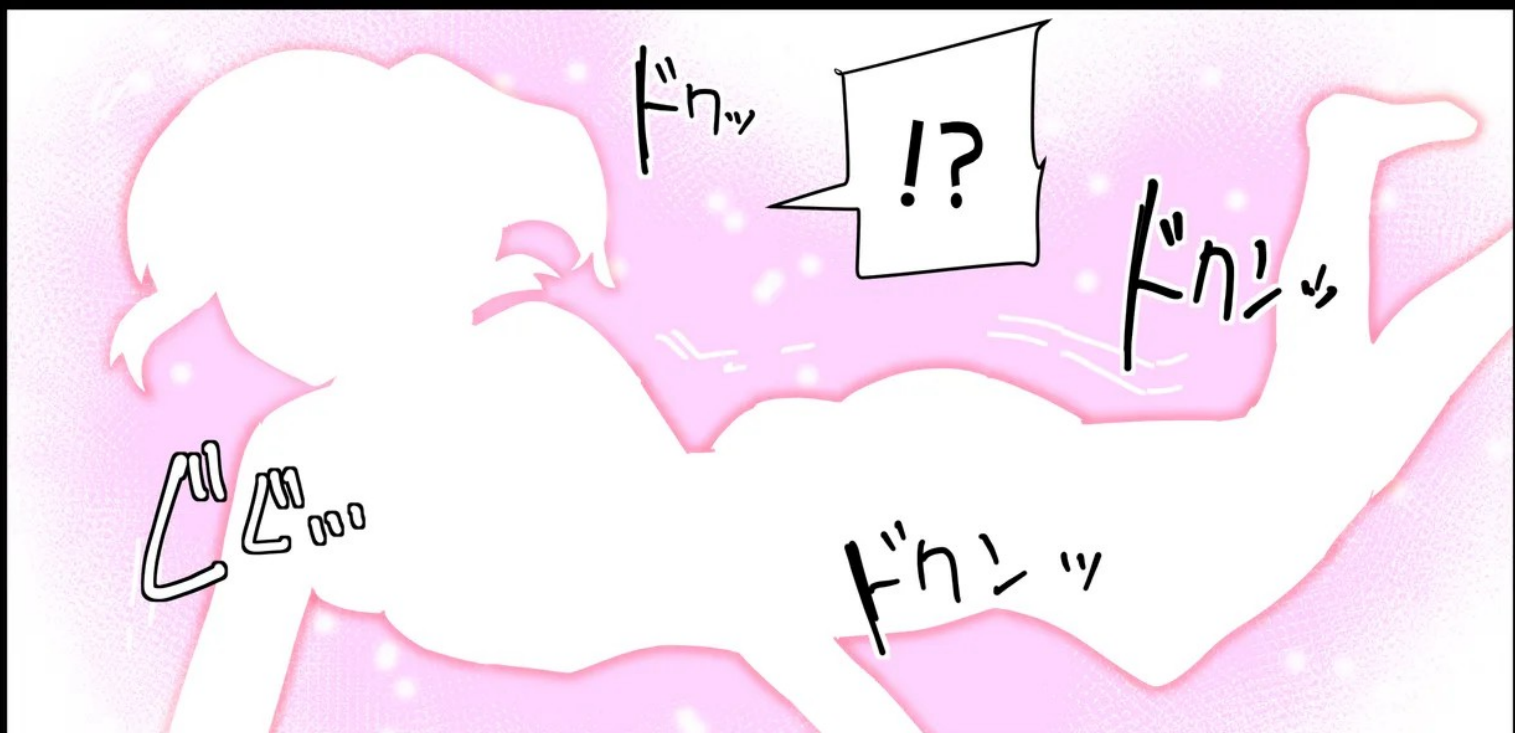


.....



はあ...  
わかりました。  
いいですよ。

消化できないって  
約束できるなら。





どれどれ...

アッ...

さ、やらに  
お狐様がでっかく...



ふしゅ〜



ドキ  
ドキ  
ドキ

はー...

無論じゃ!

...うむ。  
これくらいなら  
丸呑みできそう  
じゃな...

あの...本当に  
食べてみるつもり  
ですか?

はー...

はー...



じゅめ...♪

じゅめじゅめてて  
独特な臭い...



あー...ん♡

オオオオ...



ぎゅるるる...♪

ぐるる...

ぐんぐん

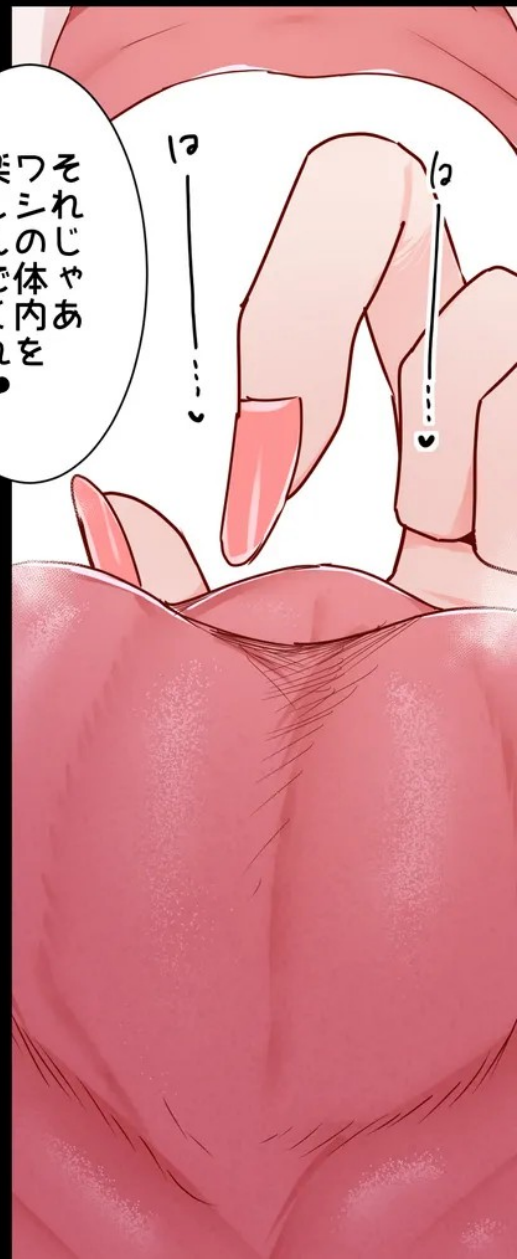
ぐんぐん

.....



それじゃあ  
ワシの体内を  
楽しんでくれ♡

ぎゅるるる...♪



は...♡

は...♡



怖  
暗  
い  
!!

や  
っ  
ぱ  
怖  
い  
!  
吐  
き  
出  
し  
て  
!!



え、ちよつと  
待  
っ  
て  
……

ド  
ク  
ン……

ド  
ク  
ン……

ギ  
ガ  
ン

っ  
ん



ん  
ん  
?



……  
♡

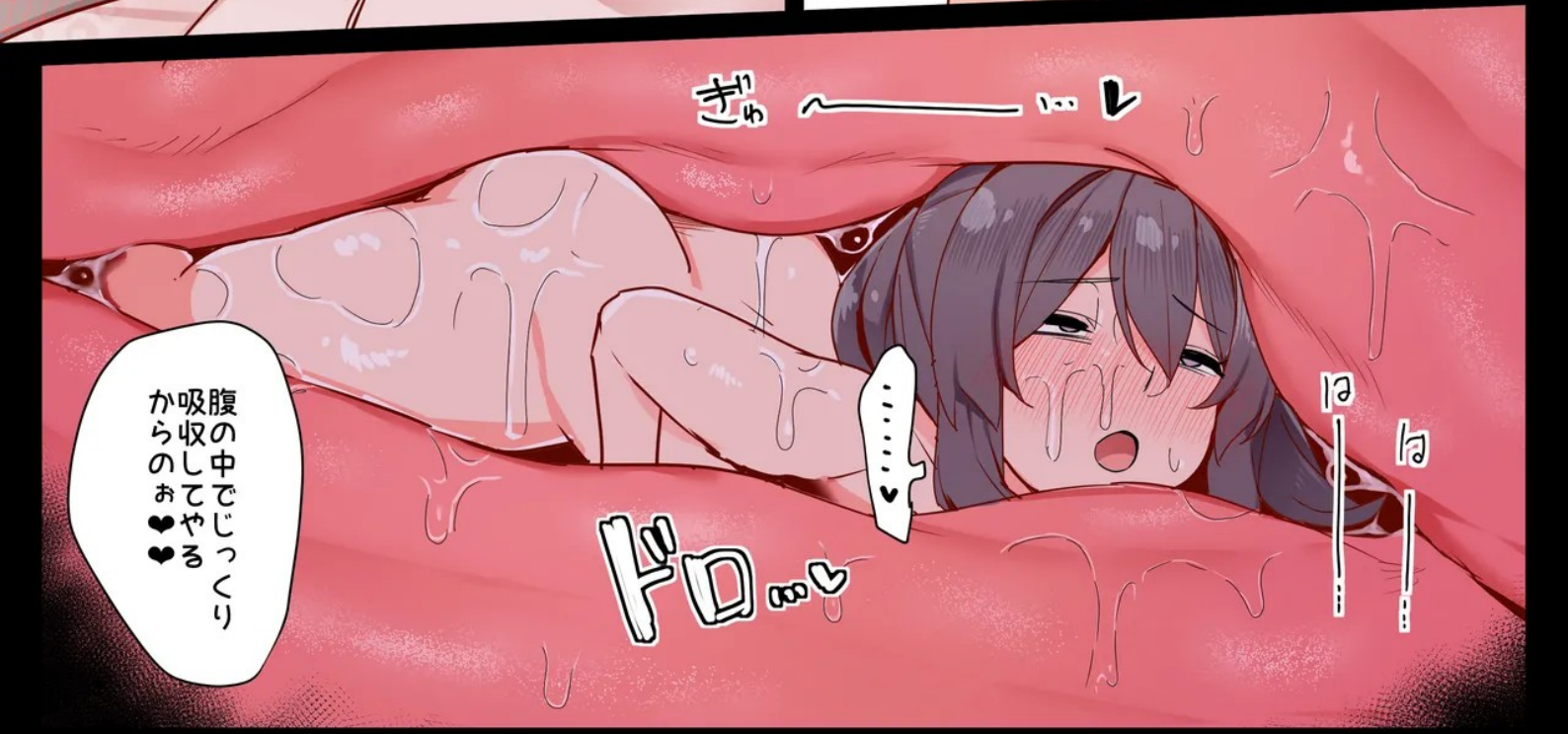
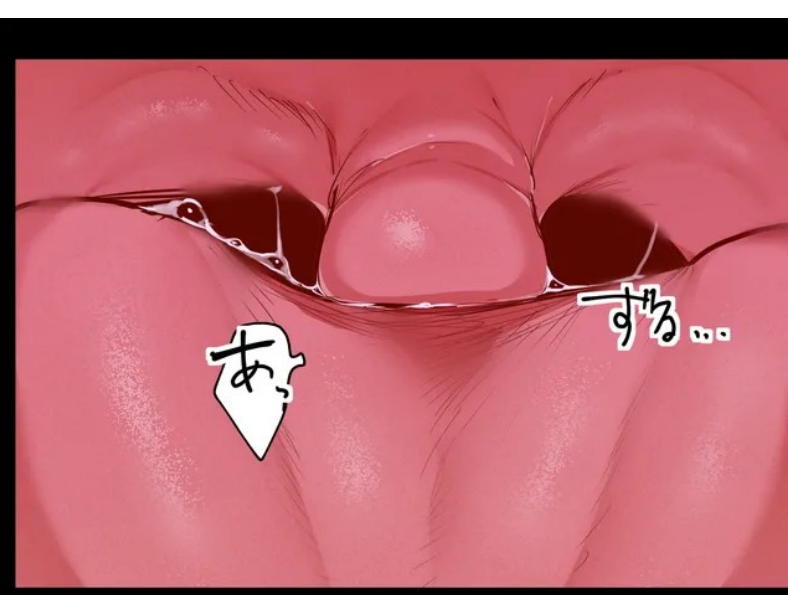
ハ  
ハ  
ハ

ハ  
ハ  
ハ



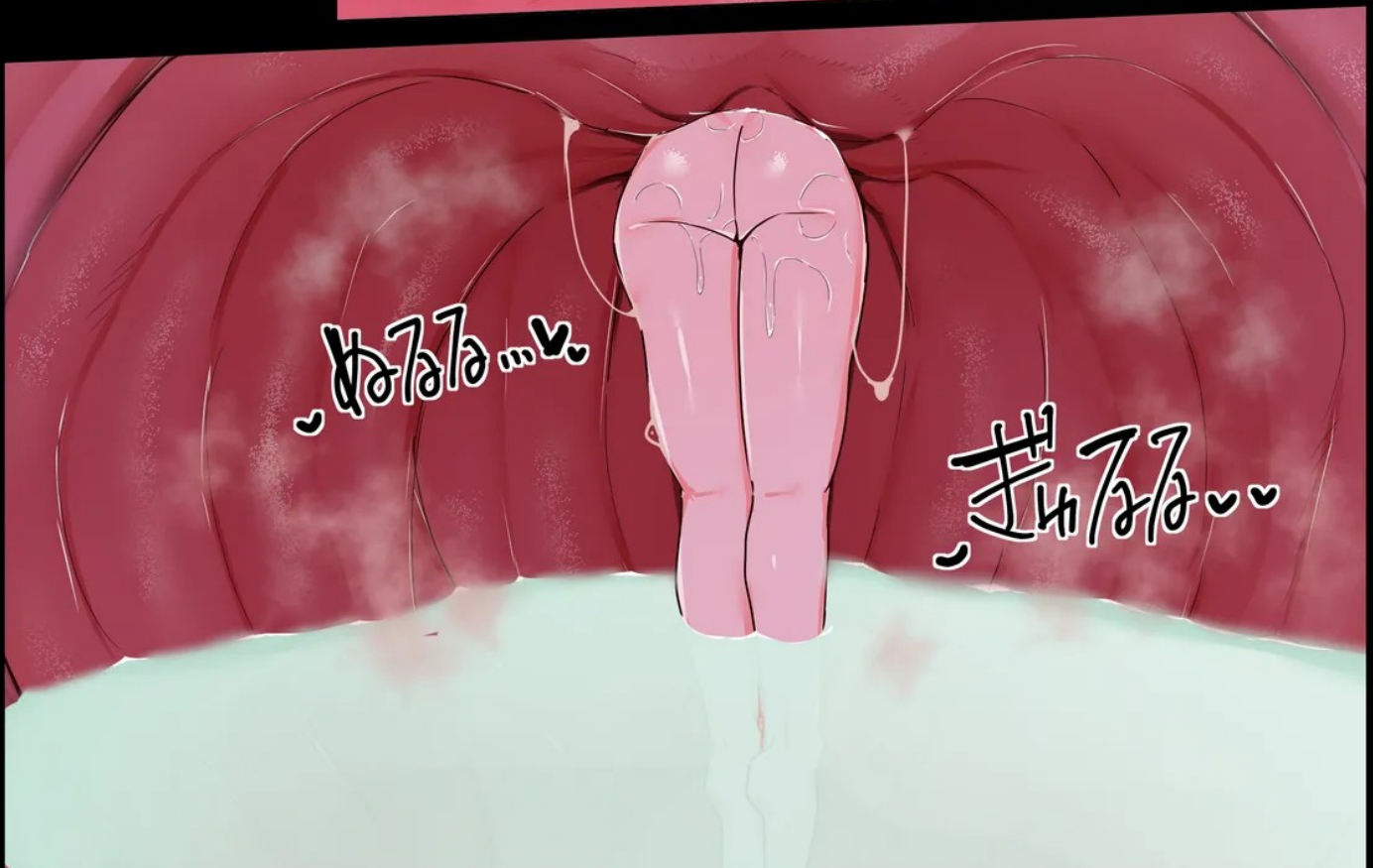
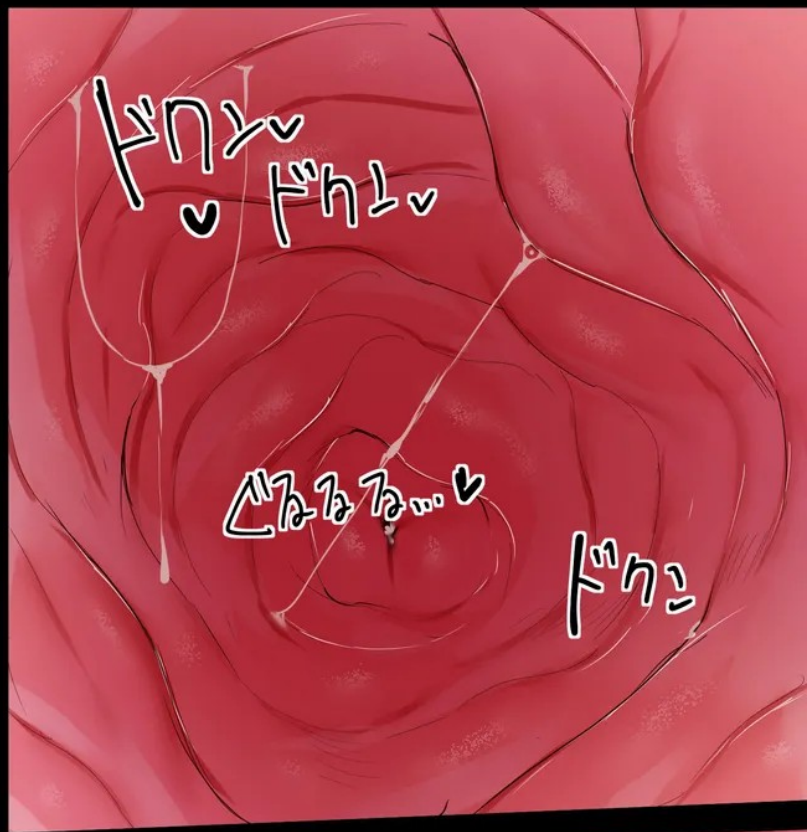
腹の奥が  
きゅんきゅん  
するわ♥

ふぅう...♥  
ご主人が腹に  
下っていくのを  
感じるのぉ...♥



腹の中でじっくり  
吸収してやる  
か...♥♥

ドゥ...♥





ハッ  
ふー！

どんだんご主人の  
エネルギーが  
沁みてるの  
感じるのぉ...



ドクン  
ドクン

...あれ？

ドクン



さす...

なんの底が熱い...？



ハッハッハッ...

なんか胃壁が  
迫ってきてる  
気がするな...





んが...

ビクッ  
ビクッ

快樂で腰が抜けてしまった...♡



ビクッ  
ビクッ

またまんこが  
きゅんきゅんして  
きたあ...♡

きゅんッ

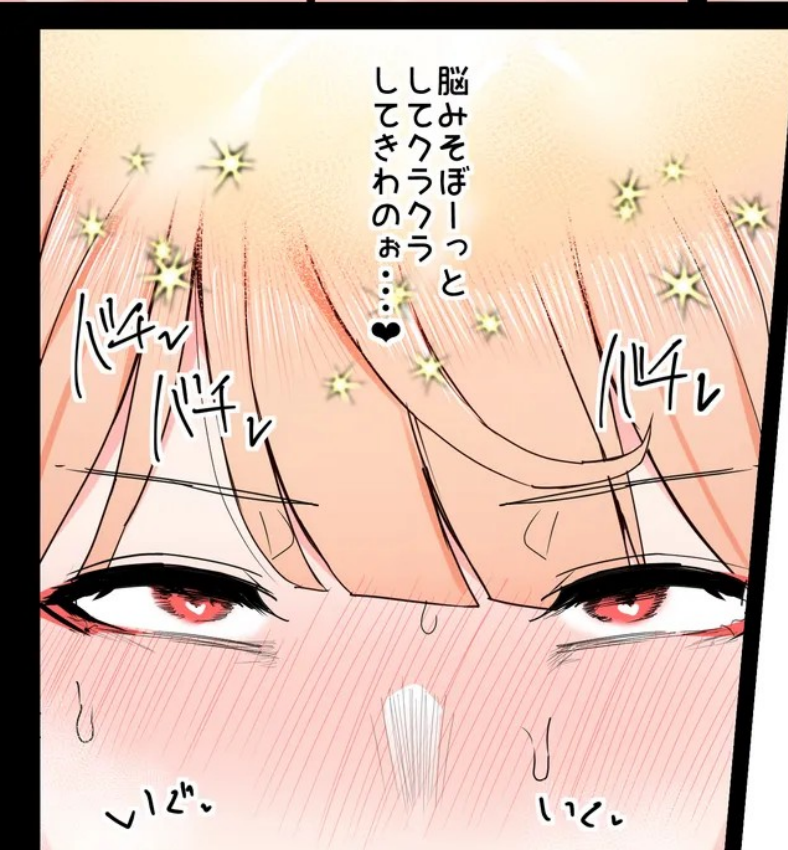
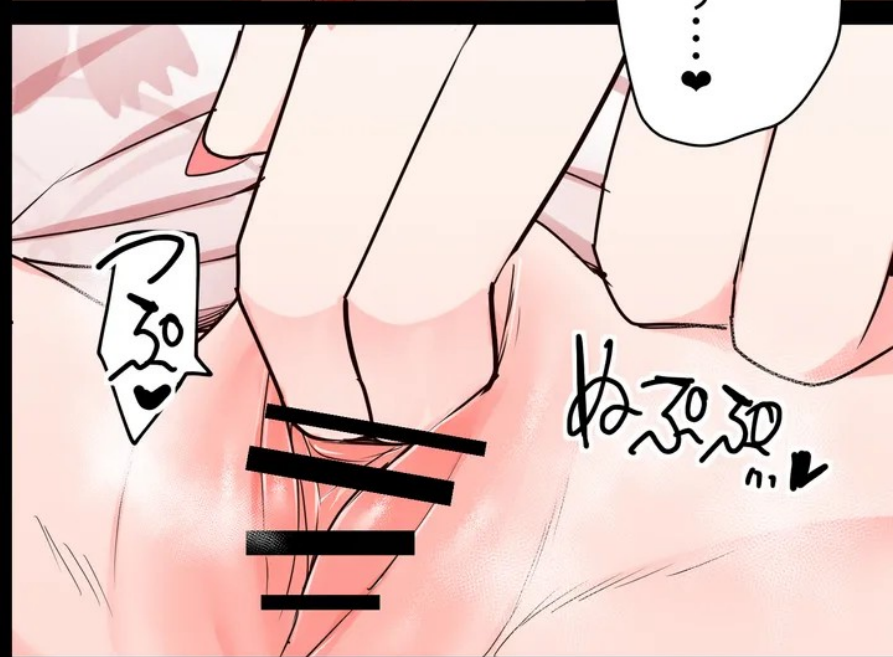
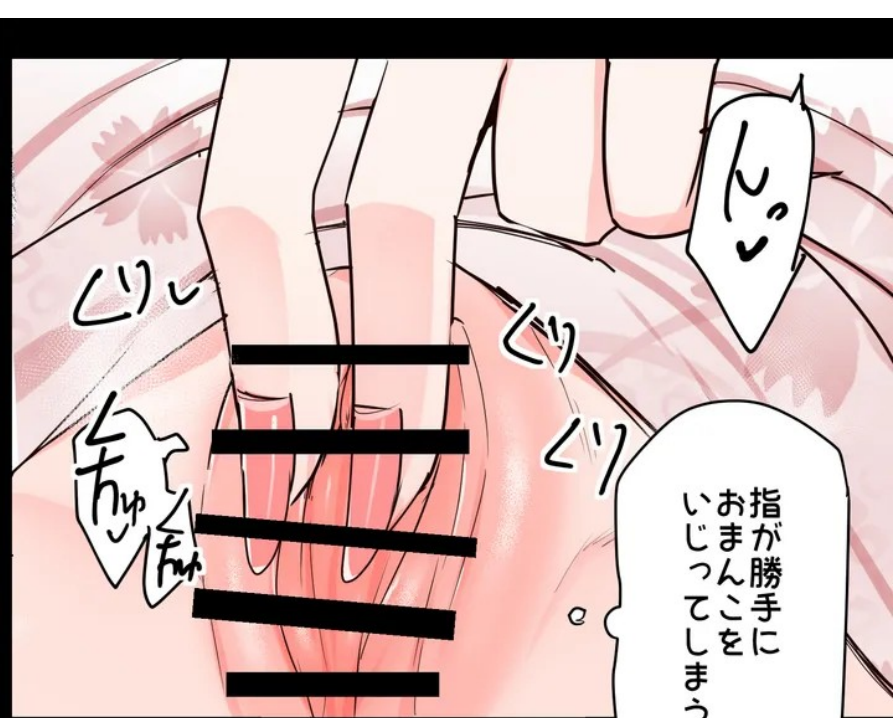


どんだん主人が  
腹の底へ落ちていくのを  
胃で感じる...♡

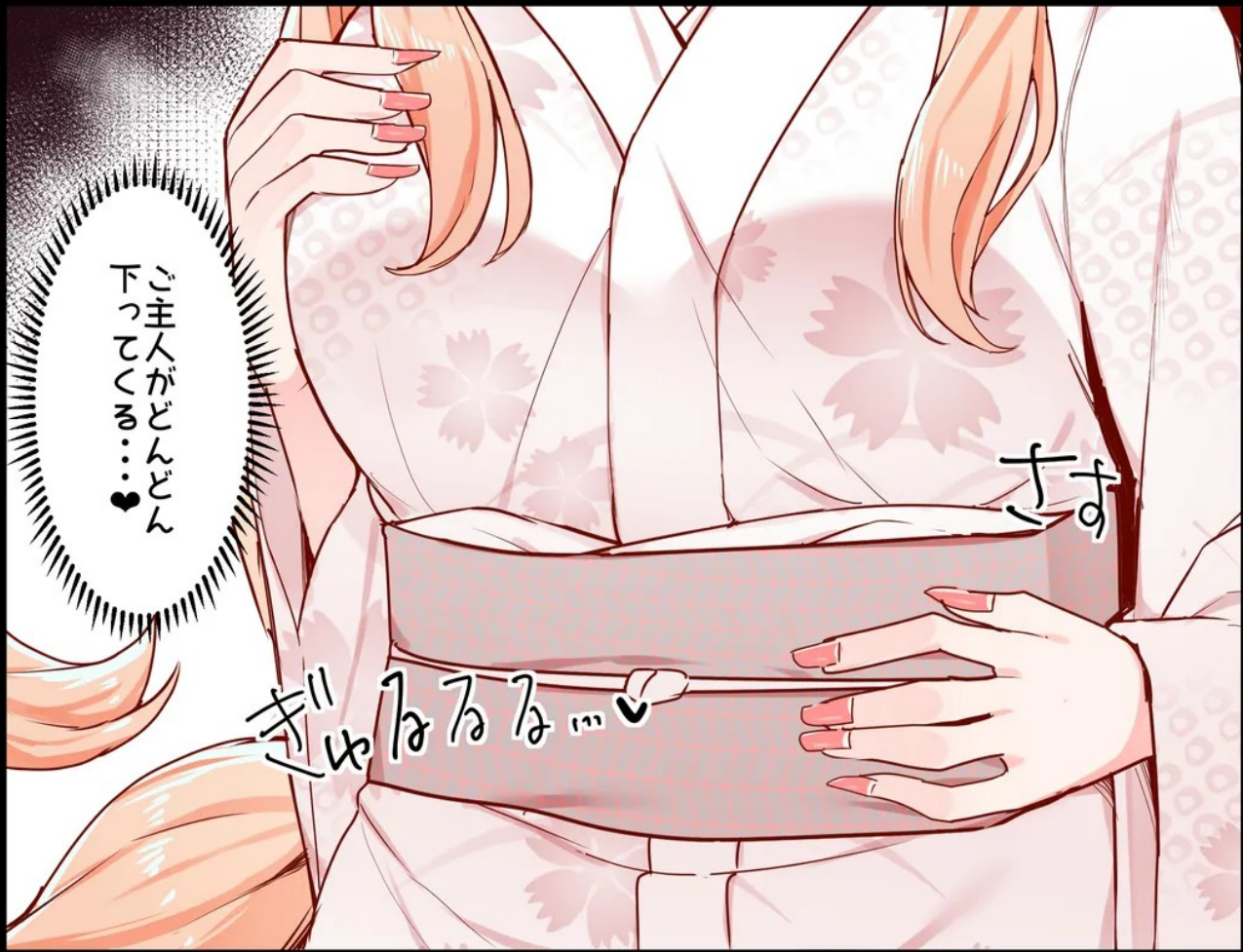
ふ  
ふ

ビクッ

ビクッ







ご主人…  
今からひり出す  
からの…♡

なんかいつもと  
違って尻の入り口  
きゅんきゅんする♡

ドド…♡

ぬるぬる…♡

ふわあ…♡

ひん ひん



ドキッ、ドキッ

アッ、アッ

あ、あ

アッ、アッ、アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ、アッ

アッ、アッ

アッ、アッ

アッ

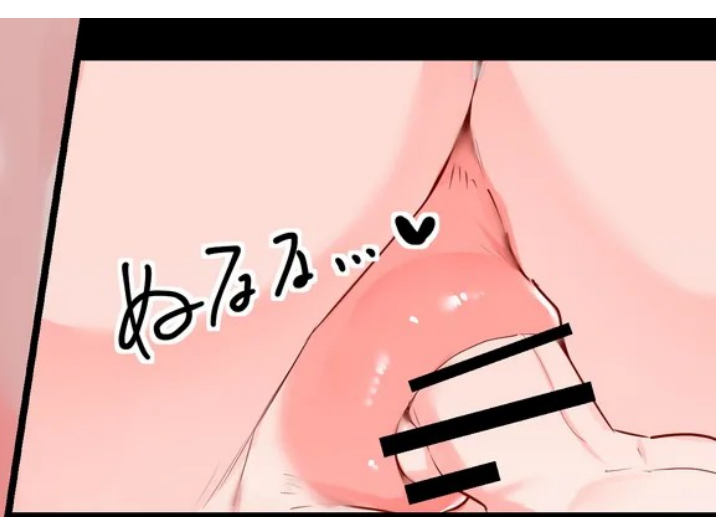




スルッ

お

スルッ



ぬるる...♡



お

お



ハニニ

お

るっ

お

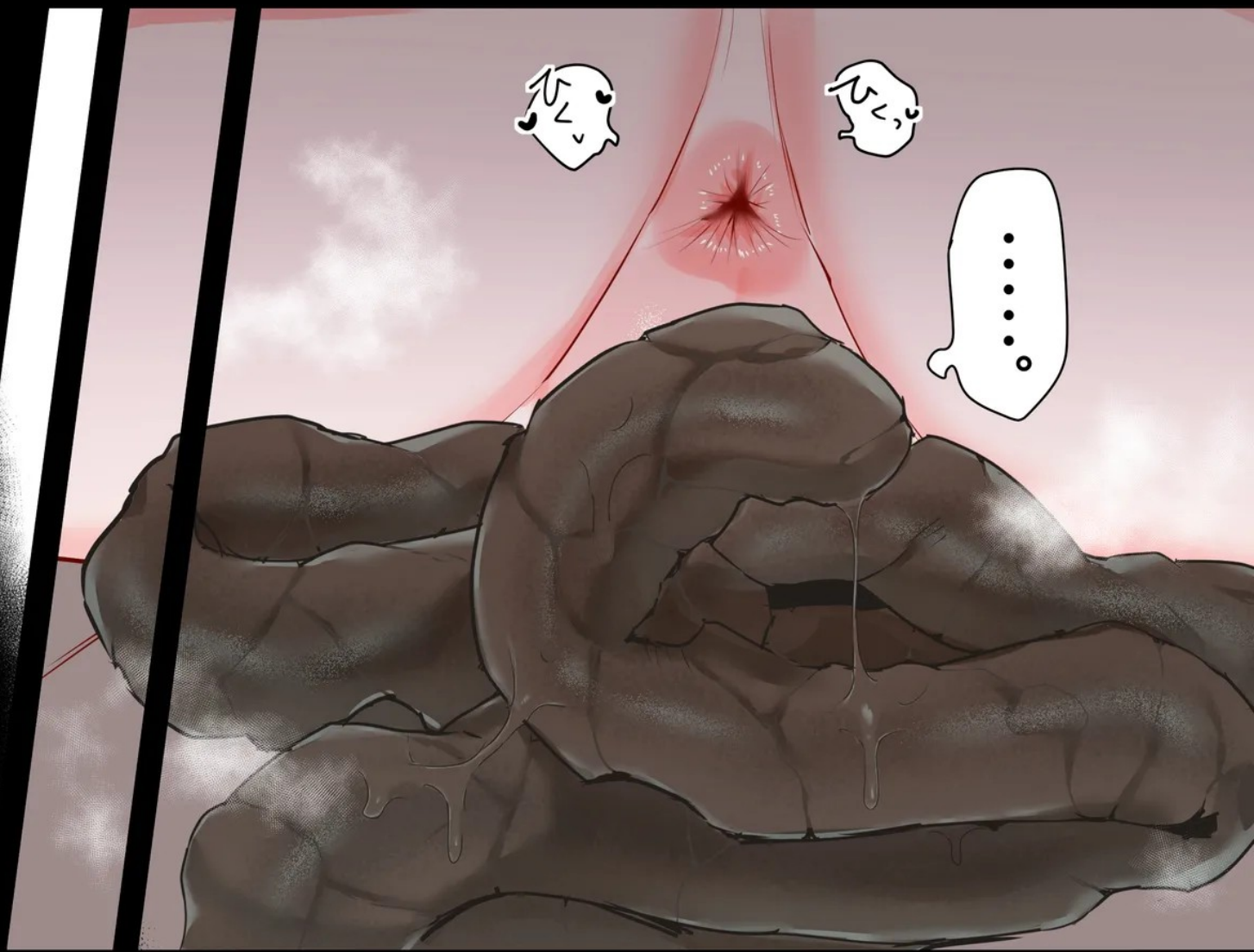
るっ

でも腰振るのを  
止められんっ♡

ご主人がいい感じに  
腸を刺激して  
腹の調子が...♡









ホッ  
● ● ● ● ● ●  
ご主人の名前

だいたい  
いつもアンタ



日本では神に名前を  
知られるとのー…

神隠しに遭うって  
話があるんじゃない



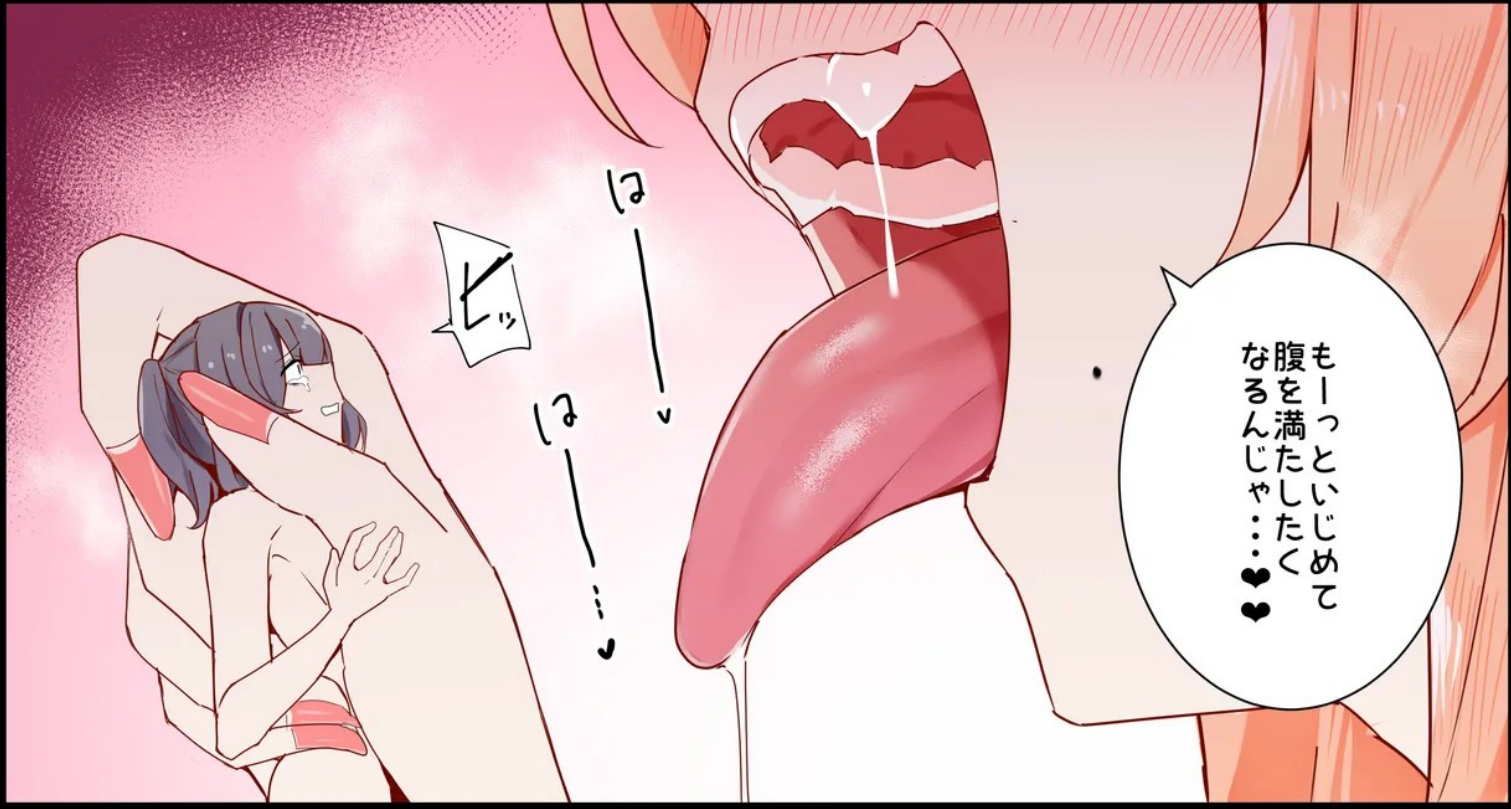
のうご主人。  
知っておるか？

えっ…



…ッ!?!  
なんで私  
の名前を!?





もーっといじめて  
腹を満たしたく  
なるんじゃ……♡♡



は  
は

んがぶ

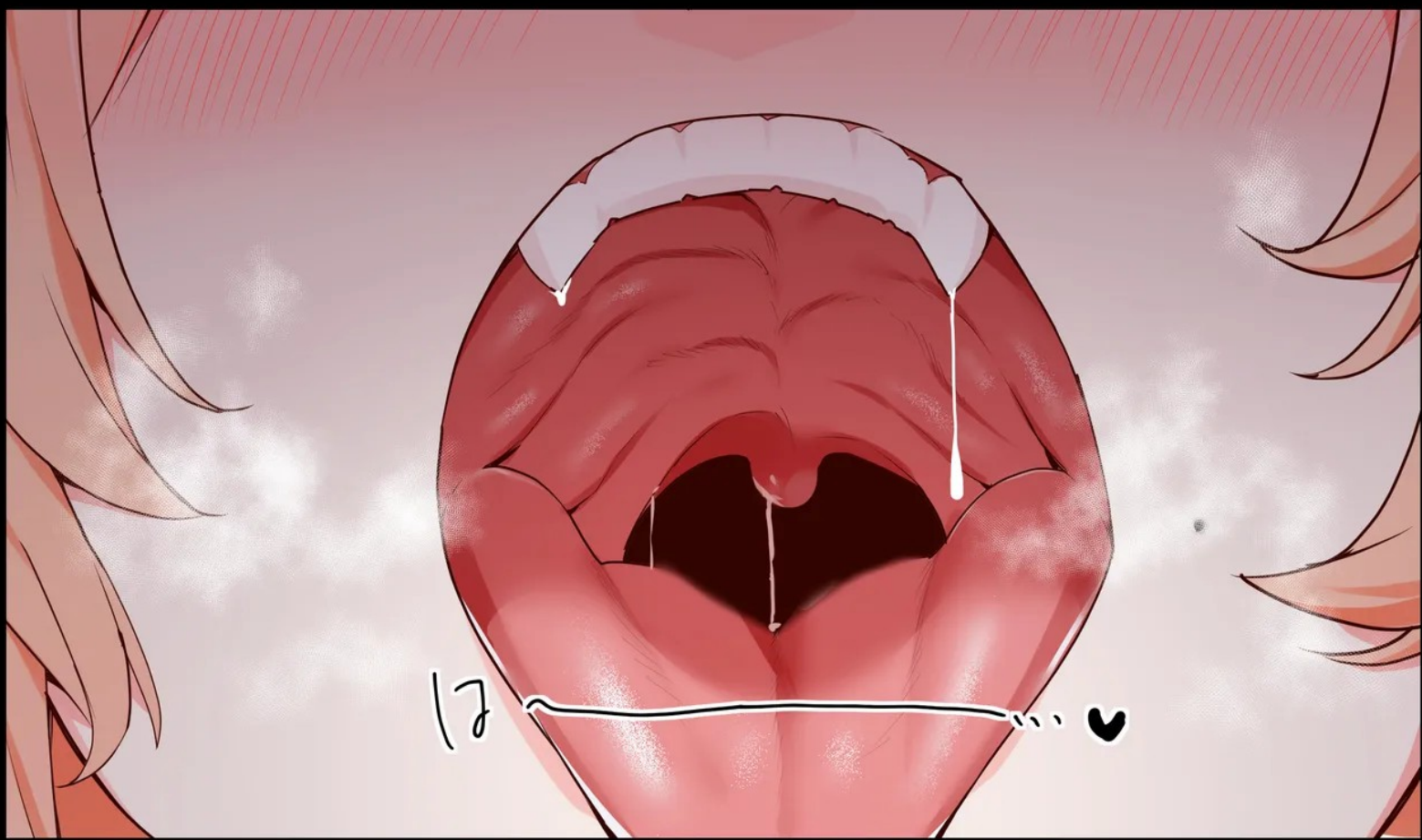
どうやって  
搾り取ってやろうか  
楽しみじゃ♡♡



こういうのを西洋では  
きゅうとあぐれっしょん  
って言うのかの？♡

うああ……ッ

キリ  
キリ



は ..... ♡



まだ口答え  
するのかが主人？

んー

ぎゅんぎゅん

ちゅん  
ちゅん

舐めんなー

ちゅんちゅんちゅん...  
ちゅん

はっ









あれこれ…  
また見た光景…

やばい吞まれる…  
でも温かいなあ…  
♥

あー

ぬるる…

ぬるる…

口の中…

ぬるる

ぬるる

いたらくき  
まあ〜  
♥



どんどん身体が  
小さくなってく…



ダメだよっば  
カが入らないば…



きんきん  
きんきん



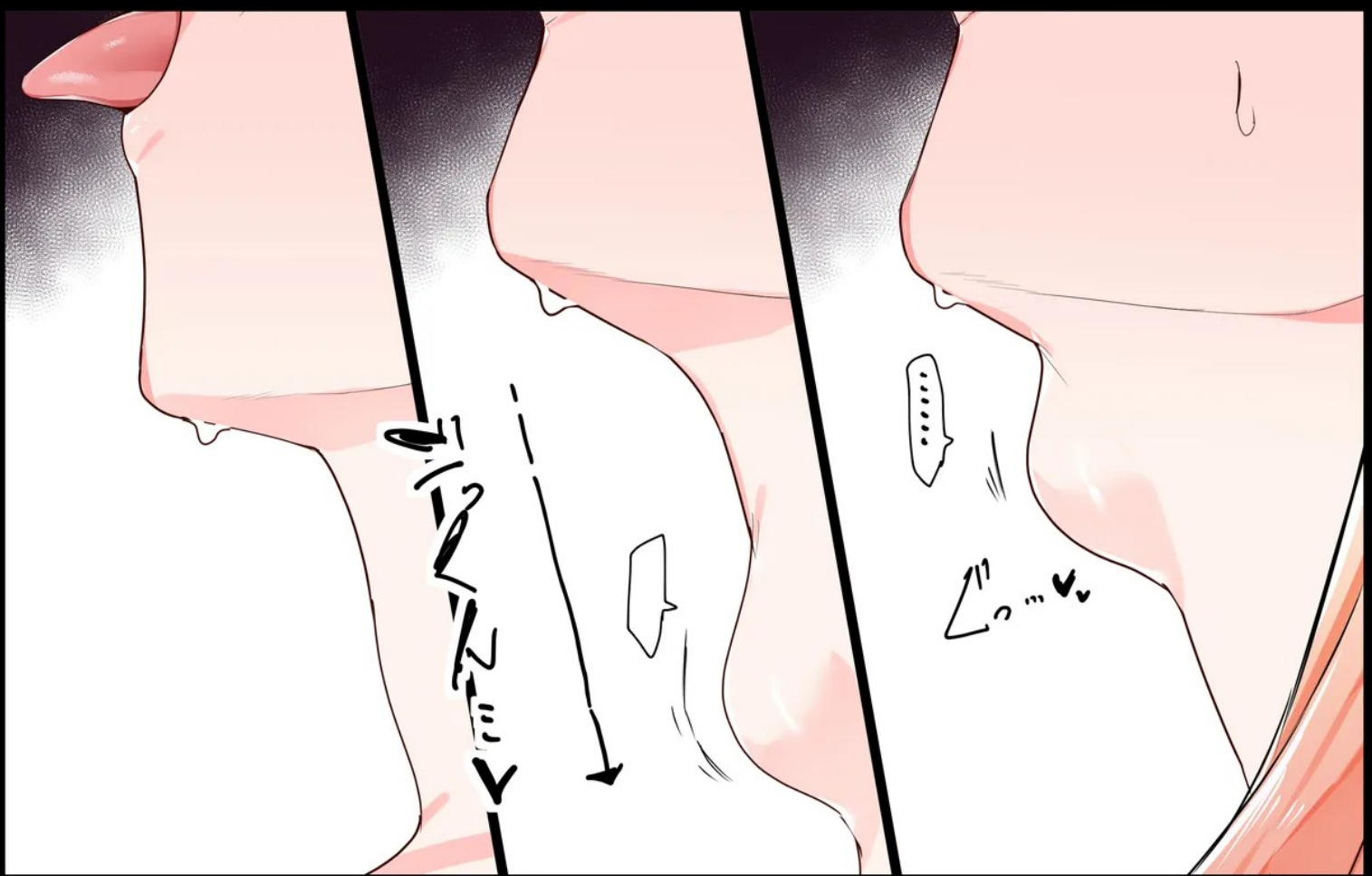




安心してろ。  
消化は絶対にせんわ。  
ちやーんとまた  
排泄してやる。

おー……

そしたらまた呑んで  
やるからの……♡



……

……

……

……

